

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 わかば西神戸		2025年 12月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	できるだけ広く活動しやすいスペースの確保に努めている	特性に応じて壁1つ必要かも知れないと感じるシーンはあるが、仕切りなどを使用して環境調整をしております
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	支援教材などが簡単に手の届かない鍵付きのロッカーを導入後、環境が整った	バリアフリーに関しては車椅子などとなると利用のしにくさはある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日玩具や棚の消毒を行っている。活動内容を子どもたちにもわかりやすく提示している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて可動式のパーテーションを使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価内容は全職員が閲覧できるように設定している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		どのように改善するかを職員と考える機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	外部評価は実施しておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内・外研修の実施。年間スケジュールを元に職員全員が把握出来るようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		アプリやおたよりを通じて公表しております	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		偏った判断となることがないように職員会議を常時間催し情報共有を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		同上	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		確定した支援計画は職員が確認できるように管理しております	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		各項目を意識した内容で設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		誰のための内容であるのか？ねらいは？を大切に内容を考えています	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		マンネリ化となることがないように同じ内容であっても見せ方の工夫や新鮮さを感じる事が出来るように工夫はしています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個々に合わせた内容で作成されている	集団が難しい方はまず個別の関わりから支援を行っている、最初は少し偏りがある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		出勤後すぐに送迎となるため、事前に業務日報の中で引継内容を確認する	送迎の職員・それ以外の職員と二度分けて情報を共有する時間を確保しているため、効率よく改善したい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		業務日報の中に記録を残し翌日出勤者は必ず確認できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		アプリ（HUG）を利用して日々の記録や支援の内容を残している。職員全員が確認できるので課題などを把握しやすい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		各利用児に担当を決めることでより一層状況を理解しようと努めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		平行利用先との情報共有はどの職員もできるように連携は意識している	平行利用先によってはなかなか連絡や時間を取ることが難しい場合があるので、おたよりや記録などを直接手渡しさせて頂く事もある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		共有すべき情報は適宜提供している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5		のぼらさんの発信の研修会に参加しています	研修開催時間が平日であると、受けたくても受ける事ができないことが現状である。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		法人主催の地域交流イベントに参加し、地域の皆さんと交流ができている	幼稚園・保育所等の子どもとのかかわりを持つ機会は少ないので今後の課題である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		定期的な保護者交流会を開催し、みんなで学び共有する時間を設けています	就労されている方もが参加しやすい時間や内容を考えることが課題
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学・体験・契約の流れに沿って保護者へ説明は欠かさず行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			保護者の意向と本人の思いに差が生じないように意識するのが課題

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		普段の様子を連絡帳を通して伝えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者の交流会／親子イベント／ご家族向けの交流会／地域交流のイベントを開催しご提供している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回のおたよりの発行、ホームページ・SNSでの普段の様子の発信を行っている。	個人情報や肖像権を意識した発信の課題
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		法人主催のイベントは地域のみなさんも参加出来るイベントを開催しています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に研修や避難訓練・引き渡し訓練を行うことで各マニュアルについて周知、実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者・医者と連携をとり、薬等の保管方法なども共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々の振り返りの中でヒヤリと感じたことの記録は徹底してしている	同じ内容で報告がある場合は改善の仕方の見直しで課題視される
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員自身のメンタルも合わせて管理できるようにする	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			